

野洲川落差工部

●具体的な整備内容

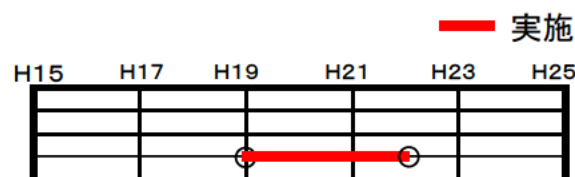
現状の堰、落差工等において、魚類等の遡上・降下に配慮した構造を検討する。なお、小規模な改築で改良が可能な箇所は早期に実施する。

野洲川 落差工

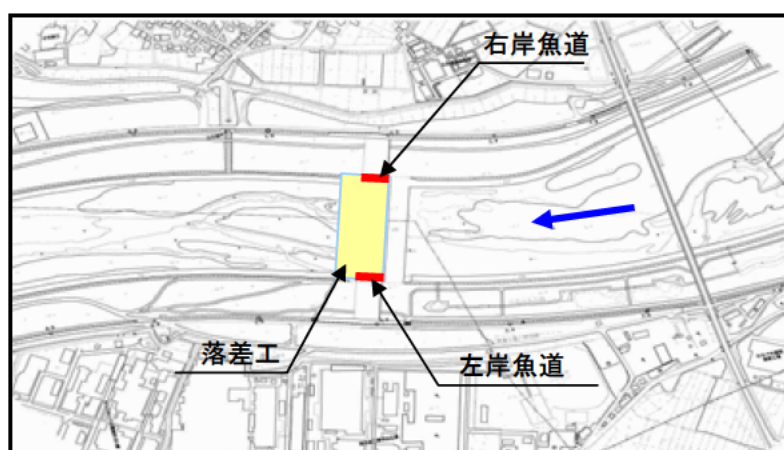
●事業の数量・諸元等

落差工魚道改良 1箇所

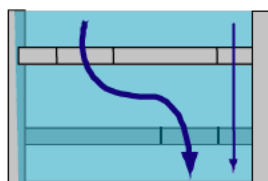
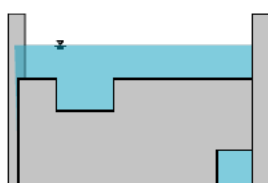
●実施スケジュール



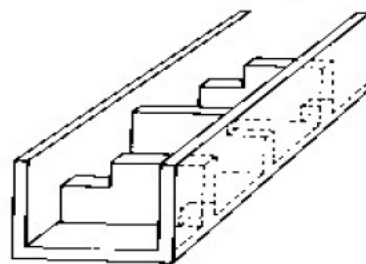
●平面図



●横断面図



全面越流型



●整備効果

魚類などの遡上・降下が容易になり、縦断方向の連続性が向上することにより、生息分布を現状より拡大することが可能と考えられる。

●提案理由

落差工には両岸に魚道が設置されているが、落差工前後の河川形状から左岸魚道しか機能していない(滞筋が左岸に偏り、右岸魚道は洪水時しか水が流れない。)ことや、魚道への呼び水が少ないことなど、構造上問題があり、改善検討を行う。

●委員会等からの意見

「整備計画進捗状況報告」においては、「事前モニタリング実施予定」とあるだけである。少なくともモニタリングの方法を明示し、さらにどのような結果が予測されるのか、それをもとにどのように修復方法を検討し実施するつもりなのかについて、直ちに内容を明示されたい。

修復方法を検討するに当たっての留意点は、環境-14と同様である。

また、琵琶湖とそれに流入する河川を含め、直轄でない河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないことは、「基礎原案に係る具体的な整備内容シートについての意見書」において指摘したにも係らず、「基礎案に係る具体的な整備内容シート」に記載されておらず、さらに今回の「進捗状況報告書」でも扱われていないことは、極めて遺憾である。直ちに「検討」に入られたい。【琵琶湖部会】

●進捗状況

第6回水陸移行帯ワーキンググループ(H17.10.18)において、野洲川に生息または遡上・降下する魚類に関する文献調査結果、現地調査方針及び魚道の基本方針を提案した。

第6回WG <http://www.biwakokasen.go.jp/others/specialistconference/wg/index6.html>

●今後の見通し等

今後、野洲川の河道全体から見た魚類の遡上・降下への環境づくりについて検討を行う。

また、ワーキングで意見のあった、この事業への地域住民の理解促進及び参加ができる環境作りを検討。

●進捗状況(写真・図面)

【現況】

魚道の呼び水が逆流しており、魚類の遡上・降下の妨げになっている。



野洲川の水量が少なくなると、遡上・降下の妨げになっている。



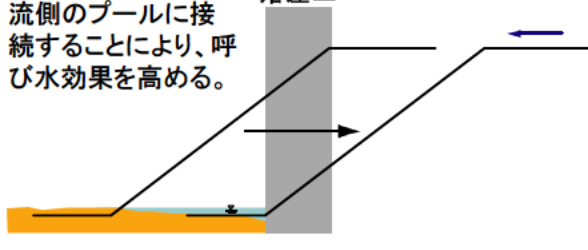
【現在ワーキングに提案している案】

詳細は第6回WG <http://www.biwakokasen.go.jp/others/specialistconference/wg/index6.html>を参照。

魚道のセットバック及び構造変更

魚道を上流側にセットバックし、落差工下流側のプールに接続することにより、呼び水効果を高める。

落差工



・構造変更イメージ

現況
(階段式)

改築案

